

Monthly Repo. ならやま

10月23日(木) 晴れ 57名+22名

佐保台小学校5年生による稲刈り実習、頑張って全ての稲を刈り取ってくれました。スズメバチが自転車道横のクヌギの樹液に集まり危険性が高まった。幸いにも実被害はなし。

里山林のカシナガ被害木の伐採と薪づくり。レタス・ニンニク・ミズナの植え付け。草刈り隊員用の安全防具(顔、胸、膝用)が整備され、BC周辺の除草。東池でアオミドロが増え、掬いとり作業に汗をながした。活花用のオオムギを播種。



10月27日(月) 晴れ 12名

ソバの収穫時期が近づいたので、ソバクラブ員を中心にソバ乾燥用の竹組を設置。

10月30日(木) 晴れ 56名+4名

11月1日のまごころプロジェクト参加に向けて自然工作の材料準備。会報誌の配布。

里山林のカシナガ被害木の伐採と薪づくりを継続。ナス跡地の整備。第5地区でソバの収穫、かなりの収量があり、新ソバ祭にも提供できる見込み。湿地の除草とキショウブの植え付け、水生生物の定期調査ではエビが常連。

黒米の脱穀を蕎麦クラブ員の動員で無事完了。

11月6日(木) 64名

BC、彩の森のソバ刈りの一斉作業。大勢の力の結集はすごいものであった。第5地区では先週刈り取ったソバの脱穀。



第5地区の整備に着手、枯れマツの処分と除草。かなり時間がかかりそうであった。黒マルチフィルムを張ってエンドウ類の播種。首を長くして待っていたダイコンの収穫が始まる。ミョウガが新しい住処をもらう。

11月13日(木) 55名+4名

近畿大学の学生と共同でタナゴ池の泥さらえ。タナゴは大きくなり数も増えていた。

第5地区の枯れマツの伐採、自転車道沿いで倒壊の危険性の高い枯れたコナラの伐採。タマネギの移植とサツマイモの最後の収穫。先週刈り取ったソバの脱穀を実施したが、彩りの森のソバは不作であった。センニチコウ花壇の処分。

11月20日(木) 晴れ 63名

コナラ伐採木の玉切り。第5地区の枯れマツの伐採ではイバラに悩まされる。漬物用ダイコンの収穫と寒天干し。長くお世話になったトウガラシ類とお別れ作業。BC 玄関口の除草、ならやま池の泥の上にいるいろいろな生き物の足跡がくっきり。寒咲きハナナの植え付け。(木村 裕)

